



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第184号 (平成29年12月25日)



(目次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>  
「森林減少ゼロに貢献するグローバル・サプライチェーンの推進に関する国際シンポジウム」の開催及び参加者の募集について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(125)
- 3 <森林・林業白書から>使う道具は全て木製のスポーツ「KUBB(クubb)」
- 4 <樹をとりまくはなし>(5) コンクリートを割るサクラ
- 5 <イベント情報>
  - ◆里山つなぎ隊 1月
  - ◆立教大学 ESD 研究所×キープ協会の環境教育基礎講座
- ☆ 事務局から

~~~~~

森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>  
 ~~~~~

- 
- 1 <林野庁プレスリリースから>  
「森林減少ゼロに貢献するグローバル・サプライチェーンの推進に関する国際シンポジウム」の開催及び参加者の募集について
- 

林野庁は、平成30年1月23日(火曜日)、24日(水曜日)に、三田共用会議所において、「森林減少ゼロに貢献するグローバル・サプライチェーンの推進に関する国際シンポジウム～持続可能な開発目標(SDGs)、生物多様性愛知目標の達成の鍵となる民間セクターによる森林保全への挑戦～」を開催します。

セミナーは公開で、カメラ撮影も可能です。

1 開催概要

世界の森林面積は依然として減少傾向が続いており、その原因の8割は食料増産を目的とする農地開発によるものとされています。森林減少は温室効果ガスの排出による地球温暖化、生物多様性の損失をはじめ、環境、社会、経済的に様々な負の影響を与えるものとして、その抑止が国際社会の重要な課題となっています。

このような中、近年、森林減少を伴わない形で生産されたパーム油、大豆、牛肉、紙パルプ等の商品作物をサプライ・チェーンの中で取り扱う「ゼロ・デフォレステーション」の取組が国際的に広がりつつあります。2014年9月の国連気候サミットでは、政府や国際企業、NGOを含む190の団体が「森林に関するニューヨーク宣言」に署名し、食料

安全保障の強化と同時に世界の森林喪失を減速、停止、反転させるというビジョンが共有されました。

本シンポジウムでは、このような国際的なゼロ・デフォレステーションの取組の進展状況について、我が国関係者の理解を深めるとともに、商品作物のサプライ・チェーンに関わる事業者の環境に配慮した調達等、森林減少の抑止に貢献できる取組を推進するため、国内外から関係者を招いて議論を行います。

## 2 開催日時及び場所

日時:平成30年1月23日(火曜日)10時00分～17時15分(9時30分受付開始)

1月24日(水曜日)10時00分～17時00分(9時30分受付開始)

会場:三田共用会議所

所在地:東京都港区三田 2-1-8

## 3 プログラム

### 1月23日(火曜日)

- 9時30分 開場、受付開始
- 10時00分～10時20分 開会挨拶等
- 10時20分～12時30分 オープニングセッション: 国連食糧農業機関(FAO)等
- 14時00分～15時40分 セッション1「グッドプラクティスの共有」:  
味の素株式会社、日本製紙連合会、スターバックスコーヒージャパン等
- 16時00分～17時15分 パネルディスカッション  
(モデレーター) ゲルハルト・ディターレ 国際熱帯木材機関(ITTO)事務局長

### 1月24日(水曜日)

- 9時30分 開場、受付開始
- 10時00分～12時20分 セッション2「森林減少ゼロに向けた今後の取組方向」:  
積水ハウス株式会社、花王株式会社、マレーシア政府、  
ワイルド・アジア、グローバル・キャノピー・プログラム等
- 14時00分～14時40分 セッション2(続き):  
イオン株式会社、株式会社レスポンスアビリティ
- 14時40分～15時45分 パネルディスカッション  
(モデレーター) 末松 広行 経済産業省 産業技術環境局長
- 16時15分～17時00分 セッション3 全体討論  
(使用言語:日本語・英語(同時通訳))

## 4 申込方法

参加を希望される方は、下記リンク先からお申込みください。

23日、24日どちらか1日のみの参加も可能です。

<https://www.omc.co.jp/maffsymposium2018/input.html>

なお、申込みについては、定員に達し次第、締め切ります。

北海道名寄市の郊外の小学校で今年の活動をふりかえりました。それぞれの活動の写真を見ながら思い出し、「楽しかった」、「気持ち良かった」、「不思議だった」の項目に子どもたちが○をつけていきます。子どもたちはほとんどの活動に「楽しかった」と○をつけました。「気持ち良かった」に○を多くつけたものは「樹名板設置活動」でした。これは、活動する森の樹木に樹名板をつけることで、自分たちが主体になったことや、整備された森の姿に気持ち良さを感じたのではないのでしょうか？「不思議だった」は「春の観察」でした。春の観察では、訪れるたびに植物が変化する森の多様性や種子散布の不思議からの結果と思います。柳原としてはすべてに◎の1年でした！

(森林インストラクター 柳原 高文)

---

### 3 <森林・林業白書から> 使う道具は全て木製のスポーツ「KUBB(クubb)」

---

「KUBB(クubb)」は、スウェーデン語で「薪」を意味するスウェーデン生まれのスポーツで、使う道具は全て「木製」である。競技発祥の地であるスウェーデンのゴットランド島では、毎年、世界大会も開かれている。2チーム対抗で向かい合って行う、木の丸棒を投げて木の角材に当てる、的当て陣取りゲームであり、木と木がぶつかり合う音が心地良く、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツである。我が国でも、徐々に広がりを見せており、平成28(2016)年には、9月から10月に開催された第71回国民体育大会(岩手国体)で、デモンストレーションスポーツとして実施された。今後、ますますの広がりが期待されるとともに、木製の道具を使った遊びを通して木に親しむことで、木の良さへの理解が深まることが期待される。

(平成28年度森林・林業白書 コラムから)

---

### 4 <樹をとりまくはなし>(5) コンクリートを割るサクラ

---

水源を守るコンクリートを近くのサクラが割っているに違いないと訴える人がいて、とりあえず見に行きました。確かに桜の根が近くの道路を割っていましたが、水源のコンクリートを割っているという証拠はありませんでした。たぶん道路のひび割れを見て、周りの物も壊されるのではないかと怖くなったのだと思います。

水源一帯には大きな草も生えておらず、コブナグサだけが生えていました。陽当たりも良く、水を得るのに都合が良ければたくさんの植物が生えてもおかしくないはずです。この場所はどちらかと言えば過湿で、普通の植物はあまり入れない場所だったので。「サクラの根が過湿である水源の方向に行く可能性は低いですよ」と説明しましたが、訴えた人の不安を払拭することはできませんでした。コンクリートを割る根は、年輪が少しずつ太ることで割れているのです。何年も時間がかかっているのに、そんなに焦らなくても対応はできると思います。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

---

### 5 <イベント情報>

- ◆里山つなぎ隊 1月
  - ◆立教大学 ESD 研究所×キープ協会の環境教育基礎講座
- 

◆里山つなぎ隊 1月

富士山麓の里山をキレイにするボランティア活動です。

里山の環境を守るため、竹林整備を中心とした保全活動を行うべく 2010 年に“里山つなぎ隊”を結成しました！！

「楽しく、マジで、ワークする」をモットーに頑張っています。

頑張って里山をキレイにしたら、里山の恵み「食」をみんなで美味しく料理していただいちゃいましょう！

【日時】2018 年 1 月 13 日(土)～2018 年 1 月 14 日(日)

【活動場所】富士山本校

【料金】3,500 円(施設使用料+食材費 3 回分+保険代)

【対象】18 才以上の男女

【定員】15 名

【詳細・申し込み】ホールアース自然学校 0544-66-0152

[http://wens.gr.jp/individual/inaka/tsunagitai2017\\_1.html](http://wens.gr.jp/individual/inaka/tsunagitai2017_1.html)

◆立教大学 ESD 研究所×キープ協会の環境教育基礎講座

キープ協会の環境教育事業 30 周年の年から始まった「立教大学 ESD 研究所×キープ協会の環境教育基礎講座」、2017 年度で 5 年度目を迎えました。

今年度は「地域創生と自然学校」を年度テーマとし、講師からの話題提供と参加型の情報交換を通して地域創生における自然学校の役割、地域創生に環境教育や ESD がどのように貢献できるか学びます。

企業関係者、行政関係者、学生さん、環境教育関連団体の皆さんをはじめ、環境教育に興味をお持ちの方であればどなたでも参加できる基礎講座です。

会場は交通の便の良い東京池袋の立教大学、参加費は無料です！

多くの皆さんのご参加をお待ちしています！

ファシリテーター：

増田 直広(立教大学 ESD 研究所客員研究員、キープ協会環境教育事業部主席研究員)

第 12 回 地域創生と自然学校①「大杉谷自然学校」

【主催】公益財団法人キープ協会、立教大学 ESD 研究所、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESD による地域創生の評価と ESD 地域創生拠点の形成に関する研究」(研究代表者・阿部治)、 ESD 地域創生研究センター設置準備室

【対象】環境教育に関心のある人(社会人、学生)

【講 師】大西かおり(大杉谷自然学校校長)

阿部 治(立教大学ESD研究所所長、立教大学・大学院教授)

増田 直広(キープ協会環境教育事業部主席研究員)

【参加費】無料

【開催場所】立教大学池袋キャンパス太刀川記念館3階多目的ホール

【当日のスケジュール】

18:00 受付開始

18:30 開会

18:40 話題提供(大西氏)

19:30 情報交換

20:20 まとめ(質疑応答、補いの講義)

20:30 終了、以降任意の名刺交換会

21:00 終了

【詳細・申し込み】公益財団法人キープ協会 0551-48-3795

URL:[www.keep.or.jp/about/kankyo/rikkyoesd.php](http://www.keep.or.jp/about/kankyo/rikkyoesd.php)

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録  
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

今年最後のメールマガジンとなりました。1年間お付き合いをいただきありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail:[feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail:[feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL:<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

